

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270201203		
法人名	医療法人社団 鳳雄会		
事業所名	グループホーム・ゆうゆう		
所在地	千葉県花見川区犢橋町12番地3		
自己評価作成日	平成23年2月28日	評価結果市町村受理日	平成23年5月12日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyō.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成23年4月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事において、旬の食材、産地直送の米の使用や器、盛り付けの工夫により、楽しい食卓作りに取り組んでいる。浴室においても、広く設計し、快適な入浴を支援している。又、近隣で同じ法人系列の老人介護保険施設があり、必要に応じ、看護師、PT、OT、栄養士、Dr等との相談。連携ができる体制にし、入居者のニーズに合わせた柔軟な支援を行っていると共に、合同行事や日ごろの交流を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームゆうゆう」の施設内は安全面に配慮したつくりになっていると共に、明るく居心地のよい空間になっている。また、機能面にも配慮されておりユニット間の交流や支援業務の円滑化が図られている。季節に応じた行事や外出会等を定期的実施しており、家族や地域の方々の参加や協力を得ながら、入居者の楽しみを支援している。日頃から地域に根差した運営を心掛けており、同法人の施設や近隣のグループホームとの連携体制や家族会や地域住民の協力体制が構築されている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員一同いつも目につく場所に「基本理念」を掲げ月一回の職員会議でも再確認し合っている入居者家族、ボランティアの方々が地域住民である事から、交流も多い又家族会も結成している。ホームページも掲載している	事業所独自の理念を掲げており、職員全員で共通理解を図っている。また、入居者がその人らしく安心した生活がおくれるように、日頃から理念に基づいた支援の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々を招いて、バーベキュー大会、夏祭り、餅つき大会等、母体と合同で行っている。又近隣のグループホームと合同運動会も年一回開催している	近隣の住民や福祉施設等との関係性を大切にしており、良好な関係を築いている。地域や事業所の行事等を通して、日頃から積極的な交流が図られている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方、家族会の方と運営推進会(年1~2回)行い、認知症と言う障害についての理解、又支援の方法として、事例に基づき意見交換を行っている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の理念に基づき、サービス内容の説明日々の利用者の方の生活状況を報告しながら、話し合い、意見があれば、積極的に取り入れるよう努力している。	地域の関係者や家族等を構成員として、年に2回運営推進会議を開催している。事業所の活動報告や意見交換等を行い、事業所理解の促進と運営の向上に努めている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者から日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市長村担当者の方と、自由に連絡し、又、その都度指示を仰ぐ時もある。千葉市のグループホーム協会を通じて市との連携を密に行っている。	市のグループホーム協会を通じて、市の担当者との連携や協力体制が構築されている。また、必要に応じて、事業の相談や報告等を随時行なっている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修に参加し職員会議にて研修で学んできた事を発表し共有している。	マニュアルの整備や研修の実施により、身体拘束をしないケアの実践に努めている。やむを得ず実施が必要な場合は、家族の了承を得た上で、理由及び経過を記録している。入居者の外出については、センサーの活用や、さりげない声かけ、見守りにより、安全かつ自由な支援に努めている。	

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	千葉県主催・千葉市グループホーム協会主催の研修に職員が交替で参加できる様研修体制を整えて組織運営の健全化に取り組んでいる		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	大まかには理解している。 現在必要性のある利用者はいない。今後学ぶ機会を積極的に持ちたい。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	質問等には誠意を持って答えている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員とは自由に話し合えるよう心がけており、要望等には積極的に耳を傾けるようにしている。	家族の面会時や家族会との交流時に、直接意見や要望を確認している。その他、相談窓口や意見箱を設置しているが、意見や要望はほとんど挙がっていない。アンケート調査からも、事業所に対する満足度の高さがうかがえる。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議の他に、意見箱を設けている。	職員会議、職員アンケートの実施や意見箱の活用により、職員の意見を確認している。また、個別に意見や要望を聞く機会を設けており、運営の向上に反映させている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	十分配慮している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修を行うと共に、千葉市グループホーム協会に所属し、会で開かれる研修に参加している。		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市のグループホーム協会に所属し、会合には出来る限り参加して、所属下の近隣ホームとは相互訪問もしている。他のグループホームと合同運動会も実施している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	運営者、管理者、ケアマネージャーが様々な角度から係わり、多面的な見方でコミュニケーションを図るようにしている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの相談には、面談、電話共に受け入れられている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	色々な選択があり、事例を話し説明している。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている			
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等にて、家族からの協力を得ており、家族とも支えあう関係を築いている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との連携を図りながら、馴染みの方々との面会、外出を実現している。	家族との外出や外泊の機会を通して、馴染みの関係を継続している。家族が事業所に宿泊することも可能であり、家族との関係性も大切にしている。	

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日入居者の洗濯物をたたむ作業を職員の誘導の下多くの利用者が参加している、又食事の後片付け(皿洗い)も数人ではあるが、職員と一緒にやっている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も利用者、家族からの通信は受け入れている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族、職員の情報を密にし、本人本意の方向性を探る努力を常にしている。	本人及び家族から生活や身体状況、サービスに対する意向等を確認している。本人からの確認が困難な場合は、家族に確認すると共に、本人の表情や行動等から意向を汲み取り、適切な支援に繋げている。業務の申し送りが1日3回行なわれており、情報共有が徹底されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から、生活歴、暮らし方等聞き取れない事が多い為、家族から今までの生活環境サービス利用の経過等を聞き取り検証している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員個々が、利用者一人ひとりに対し、目配り、気配りを心がけると共に、利用者個々には、担当を置いている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会、電話等の機会を積極的に活用し、相談報告をしている。介護計画に見直しが生じた場合は、事前に、本人、家族に相談し、了承を得た上で現状に即した新たな計画を作成している。	本人や家族の意向を尊重した上で、介護支援専門員や居室の担当者を中心として意見交換を行い、計画を作成している。定期的にモニタリングが実施されており、生活や身体状況に応じた計画づくりがなされている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人健康チェック表と個人記録を活用している。		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアは積極的に受け入れ、警察、消防には相談をしている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医との連携を図り、随時受診が出来る様になっている。定期的(週1回)に訪問歯科診療を受けている。月2回の往診も受けている。	協力医療機関を主とした受診や往診の支援がなされている。また、訪問歯科診療の実施や同法人の老人保健施設の看護師の協力により、入居者一人ひとりの健康管理が適切になされている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当グループホームには看護師がいない為、提携病院の看護師、医師との連携を密にすると同時に、母体施設(老健)の医師、看護師に相談している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師、看護師との話し合いと家族との連携に努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期まで看取って欲しいとの家族からの要望はあるが、提携医との相談の結果、入院対応をしている。家族、提携医、職員の連携を密にし、出来る限りの本人支援に取り組んでいる。	事業所としてできる限りの支援を行なうことを方針としているが、継続支援が難しいと思われる場合は、医療機関への入院や施設の入所等への移行を本人や家族と共に検討している。現在まで、事業所で看取りを行なった事例はない。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員の中には救命講習終了証を持っている者もいる 今後も講習は積極的に参加を促し、職員会議等で事故発生時に備え訓練を行っていく		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難場所は目の前にある母体施設(老健)及び、ホーム敷地内駐車場となっており、避難訓練は定期的に行っている。	マニュアルが整備されていると共に、定期的に消防訓練が実施されている。また、消防設備の設置、避難経路の掲示、食材等の備蓄がされており、適切な災害対策がなされている。近隣にある同法人の老人保健施設及び養護施設との協力体制も構築されている。	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者に対しての言動・プライバシーは職員間で注意し合っている。	日頃の指導やマニュアルの活用により、プライバシーの確保に努めている。入居者一人ひとりのプライバシーに配慮した言葉掛けや対応がなされており、入居者の尊厳を大切に支援が行なわれている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人に合わせた対応を心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活リズムを把握する努力と実施を心がけている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	近隣の理美容師の方に定期的に訪問していただいている。又、服装はその日に合わせて職員が朝、利用者と相談しながら、コーディネートしている		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好み、嫌いな物を把握し、楽しみのある食事にしていく。今現在職員と一緒に食事の準備ができるレベルの利用者はいないが、後片付け(皿洗い)に参加している方はいる。	入居者の希望や嗜好に合わせた食事、季節に応じた行事食やおやつ等を提供し、食の楽しみを支援している。また、外食会や家族会合同の食事会等も実施している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取表と、献立表を活用して一人ひとりの状態を把握している。又食事前(15分前)には全員職下体操を行ってスムーズに食事が摂取できる様支援している		

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯洗浄、歯磨き、うがい等、個人に応じた対応をしている。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。	利用者の身体状況に応じて、声掛け誘導や介助を行っている。排泄の状況については、チェック表を活用して排泄パターンの把握に努めており、なるべくトイレでの排泄が出来るように支援している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝体操を取り入れたり、朝食事・10時・昼食事・3時・夕食時と水分量(1日の水分摂取量は1000cc以上を目安)を把握し、往診時、Drに報告し、指示を仰いでいる		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その時々状況に合わせて午前にも午後にも入浴出来る様にしている。	入浴の時間や回数については、入居者の希望に合わせて柔軟な支援をおこなっている。支援は週に3回以上実施されており、清潔の保持に努めている。身体状況に応じてリフト浴が活用されており、安全に配慮した支援も行なわれている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室は個室である為、テレビ観賞したり昼寝したり自由に過ごしている。リビングのソファでうたた寝している利用者もいる		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの薬の使用目的等がわかる処方ファイルを用意している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	リビングでは、音楽DVDや映画を流したり、折り紙をしたり、将棋をしたり、散歩をしたり等、日々様々な取り組みをしている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	全員での散歩や、戸外での食事会(回転寿司)は職員が企画して支援に努めている。その日の天候にもよるが、近隣のグループホームに遊びに行ったり来たりして、交流を図っている。外泊は家族の協力を得ている	日頃から散歩やドライブ等を実施しており、戸外での楽しみを支援している。定期的に外出会を企画しており、利用者及び職員全員で楽しみを共有している。また、同法人の老人保健施設や隣接のグループホームとの交流会等も実施している。	

【千葉県】グループホーム ゆうゆう

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭程度は個人管理している利用者もいる、職員同伴にて近隣の主催しているバザーでの買い物、また毎週火曜日と木曜日に訪問パン屋が来所する為、自由に買い物できる様支援している		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人で携帯電話を所持している利用者がある。また、ホーム内の電話では自由に連絡が取れるようになっている。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの共有スペースはゆったりとした空間を確保しており、廊下の壁等には、季節感を取り入れた展示物を掲示している。	全面バリアフリーであると共に、施設全体が安全面に配慮したつくりになっている。また、共用空間については十分なスペースが確保されていると共に、採光がよく、明るくゆったりとした空間となっている。ユニット間の仕切りをなくすことが可能になっており、行事や相互交流に活用されている。常に職員が目が届く場所に静養室が配置されており、入居者の状況に応じた活用がなされている。その他、ウッドデッキスペースが配置されており、日光浴やくつろぎの空間となっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキ、廊下、リビングにはそれぞれソファや椅子を用意し、自由にしようできるようにしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への私物の持込みには原則、制約は設けていない。畳とフローリングの2種類の居室を用意している。	和室と洋室の居室が配置されている。馴染みのもの等の持ち込みは自由になっており、入居者や家族の希望に応じた空間づくりがなされている。全居室にエアコンが設置されており、適切な空調管理がなされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は全てバリアフリーにし、ドアは引き戸になっている。		